


“食”と“アート”と“元気なフランス” フェスタ

- 名称： “食”と“アート”と“元気なフランス”フェスタ
- 日時： 2016年6月3日(金) 10:00～19:00
 - イベント会場⇒10:00～19:00
 - セミナー会場⇒第1部 14:00～15:00 / 第2部 17:00～18:00
- 会場： 丸の内ビルディング(東京都千代田区丸の内2-4-1)
 - イベント会場⇒1階マルキューブ(10m×13m 130㎡)
 - セミナー会場⇒丸ビルホール&カンファレンススクエア Room4
- 目的： 昨年11月のテロ以降、日本人旅行者数の減少が続いているフランスへの観光需要の早期回復を目指すとともに、イベントを通じ、旅行相談や旅行商品の販売等、新規顧客開拓へとつなげていく。
- 目標： 来場者1,000名
- 主催： 一般社団法人日本旅行業協会





来場者がフランスを体感し、魅力的な旅のイメージを共有する。
ターゲットの興味を惹起する、“ひとときのフランス”を感じる空間を演出。

▼
<方向性>

“食”と“アート”と、“元気なフランス”

人気の高いフランスの文化をモチーフに、元気を取り戻したフランスのイメージを訴求！

▼
<テーマ>

花咲くフランス

昨年11月、“花の都、パリ”で起きた同時多発テロ後、日本人旅行者の減少が続くフランス。
テロ後の不安なイメージを払拭するためには、まずはフランスの安心・安全なイメージの訴求が必要不可欠。

「花咲くフランス」

をイベントテーマに、元気を取り戻した“花の国”フランスを、“花咲くフランス”と謳い、
ターゲット層に人気の高い「食」と「アート」を切り口とした“華”のあるイベント展開で、
フランスへの興味の惹起と魅力的な旅のイメージを共有させるとともに、
パリを含むフランス全土の安心で安全な情勢のイメージを浸透させ、観光需要の回復をはかる。

『“花咲くフランス”をテーマに競演ライブアート』 ～花絵師 藤川靖彦×ローラーペイントアーティスト さとうたけし～

■実施内容

フランス・ニューヨーク等、国内外で話題するローラーペイントアーティスト さとうたけし氏が描く“花咲く国、フランス”の世界観を、テレビ番組「情熱大陸」で特集される等、ヨーロッパを中心に幅広い活動をする花絵師 藤川靖彦氏が、10,000本の花で、来場者ともに巨大な花絵を描く。またさとうたけし氏によるローラーペイントの壁面ライブパフォーマンスも実施、パリのストリートにいるような“ひとときのフランス”を醸し出す。両作品とも当日はインスタジェニックな撮影スポットとしても活用。

- 出演：藤川靖彦(花絵師)／さとうたけし(ロールペイントアーティスト)
- 花絵：直径6mサイズ ※バラまたはカーネーション約10,000本使用
- 時間：制作⇒9:00～13:00 展示⇒13:00～19:00



藤川靖彦

1961年、東京都世田谷生まれ。日本大学芸術学部卒業。限りある命=Ephemeral をテーマに、国内外において花やキャンドル等を使ったエフェメラル・アートを創作。大地をキャンバスに花びらで描く花絵「インフィオラータ」の日本の第一人者で、現在まで国内外200カ所以上で作品をプロデュース。近年は海外で歌舞伎絵を花で再現する「花歌舞伎」の創作活動を積極的に行っており、ヨーロッパを中心に世界各地から創作の依頼が殺到している。2015年6月、毎日放送「情熱大陸」に出演、大反響を呼んだ。その後テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等に数多く出演。日本を代表する文化人が名前を連ねるエンジン01文化戦略会議会員。インフィオラータ国際連盟理事。



さとう たけし

1977年生まれ。宮城県出身。19歳で単身渡米。独学で壁画技術を習得し数々の壁画を手がける。帰国後、テーマパークなどのアミューズメント施設の装飾ペイントに携わる。2005年からライブペイント活動をスタートしペイントローラーだけで描かれる「ローラーアート」活動を行う。2012年には韓国で行われた麗水万博ジャパンデーにて葉加瀬太郎、ゴスペラーズなどと共にパフォーマンスを披露した。クラフトマンシップの要素をアート界に持ち込んだ斬新なスタイルと、短時間で描くライブイベントショーは多くの海外メディアの注目を集める。



『ローラーペイントアートパフォーマンス』

■実施内容

国内外で活躍する世界で唯一人のローラーペイントアーティストのさとうたけし氏によるローラーペイントアートパフォーマンスを実施。またコラボアートを創作した花絵師の藤川靖彦氏をゲストにまねき、ライブアートの魅力についてトークショーを行う。

- 出演：さとうたけし(ローラーペイントアーティスト)
藤川靖彦(花絵師)
- 時間：トーク&ライブアート形式 30分程度
- 主題：ライブアートの魅力(仮題)



『フランスを味わうスペシャルトークショー』

■実施内容

スペシャルゲストに2014年フランス農事功労章受勲の山本益博氏(料理評論家)と、2013年フランス観光親善大使の鎧塚俊彦氏(パティシエ)を招き、フランスの食の魅力をテーマにトークショーを実施。また来場者には鎧塚俊彦氏手製の焼菓子も振る舞う(先着100名)。舌で味わうフランスの食の芸術の魅力など、山本氏と鎧塚氏から享受いただき、より一層フランスへの渡航意欲をかき立てる。30分間程度のステージプログラムを予定。

- 出演：山本益博(料理評論家)
鎧塚俊彦(パティシエ)
- 時間：トークショー形式 30分程度
先着100名の来場者に、鎧塚俊彦氏手製の焼菓子を提供
- 主題：アートとしてのフランスの食の魅力(仮題)



『フランス文化フォーラム』

■実施概要

フランス農事功労章受勲の料理評論家「山本益博」氏と、パティシエ「鎧塚俊彦」氏を講師に招き、フランスの食文化に関する基調講演を実施。執筆やメディアなどでの露出も多く人気も高いことから、広域からの集客が見込めるコンテンツと位置づける。食についての最新情報に加え、フランスのお勧めのレストランや食材など好奇心を満足させる内容とする。またフォーラムは2部構成とし、1部と2部の入替制とし、いずれも事前申込によるクローズドイベントとして別会場で開催。

- 会場：丸ビルホール&カンファレンススクエア Room4（シアター形式で140名程度／回）
- 参加：事前応募形式 140組280名 ※応募多数の場合は抽選
 - ①FAX及びWEBの応募フォームより応募事務局に応募
 - ②申込み締切後、応募者へ招待状を送付 ※応募多数の場合は抽選
 - ③当日会場入口にて招待状と引換えに入場
- 出演：1部⇒山本益博(料理研究家) 2014年フランス農事功労章受勲
2部⇒鎧塚俊彦(パティシエ) 2013年フランス観光親善大使就任



山本益博

“美味しいものを食べるより、ものを美味しく食べる”をモットーに食卓を共にする時間を楽しむ“食時会”や生産者を講師に招いての食材塾を開催。また、社会活動のひとつとして、新潟県中越地震被災地での「料理ボランティア」が評価され国土交通大臣より感謝状を代表者としていただいたことをきっかけに、2007年2月に「料理ボランティアの会」を立ち上げた。2014年にはフランス農事功労章を受勲。

食以外にも音楽の分野では、「オペラの旅へようこそ」「音楽で逢いましょう」の他、2005年秋に499部限定の「ロマネ・コンティとモーツァルト」を出版。近著に「そんな食べ方ではもったいない！」(青春新書)、「マスヒロの東京ずばり百軒」(実業之日本社)。最新刊は、『3つ星ガイド』をガイドする(青春出版社)。



鎧塚俊彦

「Toshi Yoroizuka」オーナーシェフ。京都府出身。23歳で守口プリンスホテルに入社、パティシエの世界に入る。1995年、基礎から洋菓子を学ぶ為にスイスに渡る。以後、オーストラリア、フランス、ベルギーの4か国で8年間修業を積む。その間2000年パリで行われたINTERSU2000で優勝を果たす。2004年に東京・恵比寿に「Toshi Yoroizuka」をオープン。2007年に東京ミッドタウンに「Toshi Yoroizuka MID TOWN」をオープン。その後もエクアドルでのカカオ農園の設立、小田原では2000坪の農園を併設した「一夜城Yoroizuka Farm」開設、渋谷ヒカリエでは「Yoroizuka Farm TOKYO」をオープンするなど精力的に活動している。2013年に「フランス観光親善大使」に就任。



Team EUROPE「ヨーロッパの美しい村30選」 『フランスの美しい村』写真展

■実施概要

Team EUROPEが選定した「ヨーロッパの美しい村30選」に選ばれた、フランスの美しい村を写真やパネルで紹介、視覚的にヨーロッパの魅力のアピール。

●会場

メイン会場に展示コーナーを設置、「ヨーロッパの美しい村30選」に選ばれたフランスの村を写真と紹介キャプションを展示する。



サン・シル・ラポピー(仏)



「フランスの最も美しい村々」の一つで、「フランス人が好きな村2012年」ではNo.1に選ばれた。100メートルの岩壁に建つ、ロット川を見下ろす人口約200人の美しい集落。戦火を免れたことから、13～14世紀に建てられた建造物が多く並び、村の中心に位置するサン・シル教会は歴史的建造物に認定されている。

リクヴィル(仏)



フランスにあって、フランスでない。ドイツ的だけれどもドイツではない。村自体も18世紀後半までドイツの支配下にあったため、木骨組みの家々も他の地方と違い細かい装飾がされていたりする。そのように文化の十字路になったアルザスの特徴を、よく表した村である。

Team EUROPEなど関係企業による 『旅行ツアー販売 & 観光案内』

■実施概要

来場したお客様がその場で旅行相談ができる旅行会社関連ブースを設け、新規顧客を中心にダイレクトな契約に結びつける場とする。また、フランス観光開発機構など、生の情報をヒアリングできる機会を設け、より多くのお客様に正しい情報を提供していく。

●出展団体

- ・Team EUROPEを中心とした旅行社10～12社
- ・航空会社3社
- ・フランス観光開発機構 計15小間程度



企業サイン看板は、フランスカラーをイメージした統一のフォームとする。

ブース仕様 (イメージ)

